

山梨肺癌研究会会誌投稿規定

1. 投稿者あるいは共著者のいずれかは原則として本会会員でなければならない。
2. 原稿の内容は原則として山梨肺癌研究会において発表され、討議されたものとする。
3. 原稿の長さは原稿5枚—出来上がり5ページまでとし、800字以内の要旨と5語以内のキーワードを添える。要旨には研究目的、主な知見(できれば具体的な成績)と主要な結論を記載する。
4. 原稿は和文とする。日本語化した外国語は片仮名で書き、止むを得ない外国語は原語のまま記載する。題名の下に所属、氏名、要旨、キーワードを書く。本文の構成は、原著論文の場合は、はじめに、対象と方法、結果、考察、結語、引用文献とする。症例報告の場合は、はじめに、症例、考察、結語、引用文献とする。
5. 提出、校正された原稿をそのまま写真製本するため、原稿はワードプロセッサソフトウェアで作成する。用紙設定はB5用紙とし、上30mm、下25mm、左右25mmの余白を取る。題名からキーワードまでは1段とし、本文は2段組とする。1ページは40行とし、1段の部分は1行40文字、2段の部分は1行各18文字とする。フォントはMS明朝体を基本とし、フォントの大きさは、題名は12ポイント、それ以外は10ポイントとする。各項目名の前には空行を1行おき、項目名は中央に配置する。句読点は。、を用いる。
6. 数字は原則として算用数字を用い、半角文字で表示する。単位記号は慣用例による。欧語は半角文字で表示する。
7. 図表、写真は鮮明なものとし、原稿の適切な場所に配置する。表のタイトルは表の上に、図のタイトルは図の下に記す。
8. 引用文献は本文中の引用箇所の右肩に¹⁾²⁾あるいは¹⁾³⁾と記し、文献の記載順序は引用順とする。引用文献の記載方法は、著者名(3名以内、4名以上は和文誌では他、欧文誌ではet al とする)、題名、誌名(医学中央雑誌、Index Medicusの記載あるいは略称に従う)年(西暦); 巻: 頁(開始頁—終了頁)の順に記載する。
例: 和文雑誌 横山晶、中井祐之、米田修一、他. 非小細胞肺癌に対する塩酸Gemcitabine(LY18011)の後期第II相試験. 癌と化学療法 1996; 23: 1681-1688.
欧文雑誌 Masuda N, Fukuoka M, Kusunoki Y, et al. COT-11: a new derivative of camptothecin for the treatment of refractory or relapsed small-cell lung cancer. J Clin Oncol 1992; 10: 1225-1229.
単行本 有吉寛、加藤兼房. Neuron-specific enolase. 篠崎一郎、服部信、編集. 腫瘍マーカー. 東京: 医学書院; 1985: 101-105.
9. 原著論文の作成に当たっては個人情報保護に十分留意し、症例報告においては対象症例が特定できないよう表示に配慮すること。動物実験では動物愛護の面に十分配慮すること。
10. 原稿は山梨肺癌研究会事務局に提出する。原稿のほか電子メディア(フロッピーディスク、電子メールなど)でも提出する。
11. 論文の採否は編集委員会において決定する。
12. 掲載後のすべての資料の著作権は山梨肺癌研究会に帰属するものとする。